

公益財団法人加古川市国際交流協会が 第16回自治体国際交流表彰(総務大臣表彰) を受賞!!

主催	総務省、(一財)自治体国際化協会
日時	令和4年5月20日(金)
場所	表彰式は、新型コロナウイルス対策で開催されません。
内容	<p>公益財団法人加古川市国際交流協会は、この度第16回自治体国際交流表彰(総務大臣表彰)を受賞しました。</p> <p>自治体国際化交流表彰は、国内の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施しているもので、第1回から第15回までの間で、45自治体等が受賞しています。</p> <p>この度、第16回自治体国際交流表彰(総務大臣表彰)として、全国で3団体が表彰されることとなり、公益財団法人加古川市国際交流協会が総務大臣表彰を受賞しました。</p> <p>※公益財団法人加古川市国際交流協会以外の表彰は、「認定特定非営利活動法人岡山市日中友好協会」、「沖縄県」となっています。</p> <p>(添付資料) ・ 総務省報道資料(抜粋) ・ 表彰受賞団体評価のポイント(抜粋) ・ 公益財団法人加古川市国際交流協会概要</p> <p>(<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 恒例 <input checked="" type="checkbox"/> 回目)</p>
対象(参加者)	
定員	
参加費	
申込先・方法	
目的・背景 その他	
市ホームページ	掲載済み・掲載予定(●月●日)・掲載しない・ <input type="checkbox"/> 未定
広報かがわ	●月号に掲載・●月号に掲載予定・掲載しない・ <input type="checkbox"/> 未定

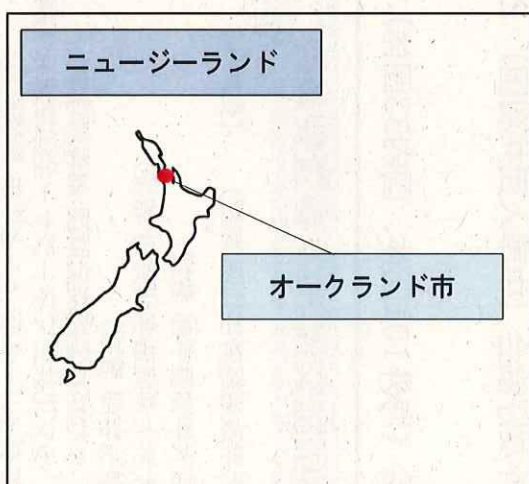
第 16 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 受賞団体の概要

○ 公益財団法人 加古川市国際交流協会（兵庫県）

（1）交流先 <姉妹（友好）都市提携年月日> ※各都市との交流の取組は 4 頁参照

- ① マリンガ市（ブラジル連邦共和国）<昭和 48 年 7 月 2 日>
- ② オークランド市（ニュージーランド）<平成 4 年 5 月 4 日>
- ③ 桂林市（中華人民共和国）<昭和 63 年>

（2）各都市について



第16回 自治体国際交流表彰について

自治体国際交流表彰とは

- 日本の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施している。
- 第1回から第15回までの間で、43の自治体等が受賞している。

第16回 自治体国際交流表彰 受賞団体（3団体）

- 公益財団法人 加古川市国際交流協会（兵庫県）
 - ①マリンガ市（ブラジル連邦共和国）、②オーランド市（ニュージーランド）、③桂林市（中華人民共和国）との交流の取組
- 認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会（岡山県）
 - ①洛陽市人民対外友好協会（中華人民共和国）との交流の取組

○沖縄県

- ①国内外の県人会（海外101団体、国内33団体）、②福建省（中華人民共和国）との交流の取組

第16回 自治体国際交流表彰 審査委員会

- （令和3年12月1日 時点）
【委員長】
- あがた 久邇 公一郎（早稲田大学政治経済学術院 教授）
 - くまもと 久邇 良子（東京学芸大学教育学部 教授）
 - あらい 荒見 玲子（名古屋大学大学院法学研究科 教授）
 - あらい 土山 希美枝（法政大学法学部 教授）
 - あらい 水田 秀子（（公財）かがわ国際交流財団 前専務理事）
 - あらい 柴垣 禎（（特活）多文化共生マネージャー やま 事務局長）
 - あらい 二一ナ・ハツカライネン（外国人女性の会 パルヨン 代表理事）
 - あらい 藤田 穰（（公財）全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長）
 - あらい 上坊 勝則（総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長）
 - あらい 鳥田 浩平（（一財）自治体国際化協会 理事）

最近の受賞団体

- 第15回（令和3年5月）※報道発表のみ（式典は開催していない）
 - ・名寄市（北海道）
 - ・リンゼイ姉妹都市友好委員会（名寄市（北海道））
 - ・鶴岡・ニューブランズウィック友好協会（鶴岡市（山形県））
 - ・特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会（三重県）
- 第14回（令和2年5月）※報道発表のみ（式典は開催していない）
 - ・富山県
 - ・京都市（京都府）
 - ・薩摩川内市（鹿児島県）
- 第13回（平成31年4月）
 - ・立川・サンバーナデイノ姉妹市委員会（立川市（東京都））
 - ・新城市（愛知県）
 - ・滋賀県

第16回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (公益財団法人加古川市国際交流協会)

交流先：①マリンガ市(ブラジル連邦共和国)、②オークランド市(ニュージーランド)、③桂林市(中華人民共和国)

これまでの取組について(概要)

① マリンガ市

- 1973年にマリンガ市と姉妹都市提携を締結。市民訪問団の定期的な相互派遣や、青年海外派遣事業の継続的相互派遣等積極的な人的交流を実施。
- マリンガ市とは、28回の青年海外派遣に加え、マリンガ市の「加古川・マリンガ外国語センター」の設置を支援し、日本語学習図書や器材の寄贈を行うなどマリンガ市での日本語教育を支援。
- 2021年には、東京オリンピック・パラリンピックのブラジルホストタウンとしてブラジルシテイングバレーボール競技の応援や交流をオンラインで実施し、市内小学生とマリンガ市の小学生とのメッセージ交換事業を実施。

② オークランド市

- 1992年にオークランド市(当時ワイタケレ市)と姉妹都市提携を締結。市民訪問団の定期的な相互派遣や、中学生海外派遣事業、障がい者海外派遣事業などの継続的な中学生派遣事業を実施。
- オークランド市とは、中学生海外派遣を29回実施し、また、障がいを持つ中学生の派遣事業を28回実施、現地の学校等への訪問などの体験交流事業を長年実施。

③ 桂林市

- 1988年に桂林市と市民病院間の医学交流が始まり、医師の相互派遣等をはじめとして、市民訪問団の相互派遣など自治体間の交流として発展。
- 桂林市とは、医学交流や市民訪問団の相互派遣など、多方面にわたる交流を実施。
- コロナ禍においても、互いにマスクを寄贈するなどの交流事業を継続。



加古川マリンガ外国語センター前
加古川市青年海外派遣生とともに



加古川市障がい者海外派遣生
オークリンズスクール訪問



桂林市のこども書画作品展
桂林市のこどもの日本との交流の絵

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

1 主催

総務省、一般財団法人 自治体国際化協会

2 表彰団体

日本の自治体と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3団体以内

4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- (1) 先進性 他の模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度、広がり 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

5 選考方法

応募のあった団体及び他団体から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会の審査を経て、総務省と一般財団法人 自治体国際化協会が決定する。

○第 16 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員（令和3年12月1日時点）

- ・ 縣 公一郎 早稲田大学政治経済学術院 教授
- ・ 久邇 良子 東京学芸大学教育学部 教授
- ・ 荒見 玲子 名古屋大学大学院法学研究科 教授
- ・ 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
- ・ 水田 秀子 公益財団法人 かながわ国際交流財団 前専務理事
- ・ 柴垣 禎 特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事
NGO ダイバーシティーとやま 事務局長
- ・ ニーナ・ハッカライネン 外国人女性の会 パルヨン 代表理事
- ・ 藤田 穰 公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長
- ・ 上坊 勝則 総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
- ・ 鳥田 浩平 一般財団法人 自治体国際化協会 理事

第16回 自治体国際交流表彰 (総務大臣賞)

受賞団体評価ポイント

「受賞団体評価のポイント」は、令和4年2月に実施された「第16回自治体国際交流表彰」の審査委員会において、受賞団体に対する各審査委員のコメントをまとめたものである。

総務省
一般財団法人自治体国際化協会

公益財団法人加古川市国際交流協会（兵庫県）

（交流先：マリンガ市（ブラジル連邦共和国）、オークランド市（ニュージーランド）、桂林市（中華人民共和国））

《評価のポイント》

- ◇ 海外3都市との国際交流が継続的に行われ、一定の成果を挙げている。
- ◇ 青少年の派遣・受入を通じた交流を、国際交流協会を中心に30年近くも続けている点が評価できる。
- ◇ 青年、中学生の交流事業の参加者等による国際交流ボランティアなど、世代を超え交流を継続・発展していける体制が整えられている点は素晴らしい。
- ◇ 交流国の教育機関との連携、特に障害を持った生徒の相互交流まで幅広く行っている点が評価できる。訪問団の受入では、大学や経済団体、市民の協力を得て、全体の事業への広がりが見られ、また、特色ある医療の交流も評価できる。
- ◇ マリンガ市の日系人コミュニティとの交流は、独自性や継続性において高く評価でき、随所に創意工夫が見られ、一つ一つの取組が大変丁寧である。



加古川市マリンガ外国語センター前
加古川市青年海外派遣生とともに



加古川市障がい者海外派遣生
オークリンスクール訪問

お問い合わせ先

公益財団法人加古川市国際交流協会

住所：〒675-0016 加古川市野口町長砂 387-1

※2022年6月1日より

「〒675-0065 加古川市加古川町篠原町 21-8 カピル 21 ビル 5階」へ移転予定。

電話：079-425-1166 FAX：079-425-0200 E-mail：info@kakogawa-kia.or.jp

URL：http://kakogawa-kia.or.jp/

公益財団法人加古川市国際交流協会 概要

※主な事業

市民の国際認識と国際理解を高め、外国諸都市との相互理解と友好親善を深めるため、海外諸都市との友好交流事業、国際理解と国際協力に関する事業、多文化共生社会の実現に関する事業等を展開する。

1 海外諸都市との友好交流に関する事業

次代を担う若者等に姉妹都市等との交流機会を提供し、外国人への理解を深め、国際的視野を持ち、国際親善に貢献できる人材を育成する事業

○主な事業

- ・加古川市青年海外派遣事業
- ・加古川市中学生海外派遣事業
- ・加古川市障がい者海外派遣事業
- ・姉妹都市訪問団受入事業 等

2 国際理解と国際協力に関する事業

市民等に対し、異文化に触れ合う機会を提供し、国際認識と国際理解を深め、身近な国際協力に対する意識の向上を図る事業

○主な事業

- ・国際交流セミナー
- ・国際理解講座
- ・語学講座
- ・ふれあい国際料理講座
- ・イングリッシュ・カフェ
- ・国際協力理解セミナー
- ・協会広報誌「Public Information」の発行
- ・国際交流関係図書等の貸出し 等

3 多文化共生社会の実現に関する事業

外国人等が地域で生活を円滑にできるよう、日本語学習等の支援を行い、日本の文化や地域性の理解を促進し、国際理解を図る事業

○主な事業

- ・外国人のための日本語講座
- ・外国人のための日本語教育個人指導
- ・日本語教育ボランティア養成講座
- ・やさしい日本語講座
- ・にほんごカフェ
- ・外国人による日本語スピーチ発表会
- ・在住外国人交流事業（なつまつり、ふゆまつり等）
- ・災害時外国人支援事業
- ・日本伝統行事等の体験、参加推進事業
- ・外国人のための各種相談事業 等

4 その他の事業

○主な事業

- ・各種ボランティアの募集及び登録
- ・賛助会員登録事業 等

